

住吉大社を参拝し、組合員の海上安全を祈願

1月6日、大阪支部執行部と森健輔新日本海フェリー職場委員、畑中琵琶湖汽船職場委員の6人で大阪市住吉区にある住吉大社に「海上安全」のため祈願を行った。

住吉大社は地元のみならず、ご利益を求めて全国からも多くの方が参詣に訪れ、正月三日間の参拝者数は毎年二百万人に上る。住吉大社の神様（住吉大神）は、海上交通の守護神とする信仰が最もよく知られており、海事関係者の間で、靈験あらたかな神として崇敬されて、海上安全の守護として、参拝に訪れる方も多く、境内にある石燈籠の多くは船舶関係者から奉納されたものである。社殿で神職による海上安全の祈祷を受け、平和な海と組合員の安全航海・操業を祈願し、参拝を終えた。

「海員だより」